

平成24年度 第4回荒川地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成25年2月8日(金) 15:30~17:00
2. 開催場所 荒川支所 3階 第1・2会議室
3. 出席委員 会田健次、松田昭平、田島 勉、石山忠一、小川 巖、  
石山 健、信田瑠美子、山田俊治郎、櫻井 昇
4. 欠席委員 鈴木 薫、小関シヅ子、片岡 弘
5. 出席職員 平野荒川支所長  
荒川支所自治振興室；川崎室長、小川(智)副参事
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成24年度 第4回荒川地区地域審議会 会議次第

日 時：平成25年2月8日（金）15:30～

会 場：荒川支所 3階 第1・2会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 住環境を向上させ、人が定着するまちづくりを推進する取り組みについて

4 その他

5 閉 会

## 会議経過

### 1. 開会 (15:30)

事務局； ただいまから平成24年度第4回荒川地区地域審議会を開会します。開会にあたりまして当地域審議会の会長よりご挨拶を申し上げます。

### 2. 挨拶

会長； 第4回目の地域審議会をご案内いたしましたところ、ご多用中にもかかわらずお集まりいただきましてありがとうございます。

今年度の審議会は「定住の里づくりアクションプラン」の中で、荒川地区において特に取り組む施策について審議して参りましたが、今日がその三つ目のテーマになります。みなさんから忌憚のないご意見を出していただき、本年度の締めくくりとしたい考えでありますし、来年度以降は、今まで議論したことを踏まえて、最も効果的なソフト事業の実施に向けて進めていくこととなりますので、みなさんには引き続きご議論していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

事務局； それでは委員の欠席の報告をさせていただきます。あらかわ婦人会の小関委員、県立坂町病院の鈴木委員、荒川地区文化協会の片岡委員より欠席の旨連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

次に資料の確認をお願いいたします。本日の会議次第、資料1 アクションプラン掲載項目の具現化策意見、もう一枚がテーマ3「住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて」。以上3種類の資料となっております。

それでは会議を進めさせていただきます。ここからは会長に議長をお願いし、会議を進めていただきたいと思います。

### 3. 議事

#### (1) 住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて

会長； それでは、議事に入ります。

議題の(1)「住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて」ということですが、アクションプランの掲載項目の一つ目が「豊かな自然を守るための取り組みを進めるとともに、清流荒川の地域資源のブランド化を進め、地域産業の活性化につなげる必要があります」。

二つ目が「安心して暮らせる地域を実現するため、県立坂町病院の医療体制を充実させる必要があります」。

そして三つ目が「近隣地域のベッドタウンとして位置付け、宅地化の推進等により住環境を向上させる必要があります」となっております。本日はこの三つ目について検討していただきます。

今までの会議で出てきているご意見や、今日議論していただくための叩き台的な資料もあるようですので、これについて事務局から説明してもらいます。

事務局； 【資料により説明】

会長； 荒川というところは交通の要衝にあって、人口減少も比較的少ない地域ですので、住環境を整備することによって、人口定着に結び付いていくことは言うまでもないことだと思います。そのためには、さらに何をしていたらいいのか、県立坂町病院を充実させることもその一つですし、商業の活性化も重要だと思います。その辺も含めましてご議論いただければと思います。

例えば、商業活性化の関係で、ウオロクの件について、進捗状況はどのようになっていますか。

事務局； 農振除外については、ほぼ目途がつきそうだと聞いています。

委員； 民間企業の話なのではっきりは言えない部分だと思いますが、平成26年には営業できるのではないかという話です。

会長； 地元商店にとってはどういう影響が出ると思いますか。

委員； 今までもずっと悪い状況が続いていたので、大型店が来てもそう慌てることはないと思います。

大型店が来ればそれだけ人が集まってきます。スーパーが1店舗になって、お客さんの流れがほかの地区に相当逃げていますので、それを何とかここで止めなければならぬと思います。商工会としては判断が難しいところですが、活性化するために頑張っていかなければならないです。

会長； 買い物しやすいということも住環境向上の大きな要件ですね。

委員； できれば「道の駅」のようなものも作ってほしいと思います。

委員； 箱を作っても、そこに誰が入るのが問題です。それまでの地固めをしておかないといけないと思います。

委員； ウオロクの話に戻りますが、敷地内に6店舗ぐらい入る計画のようです。その中で農産物直売所がどのような形になるのか、地元農業の活性化につながっていけばいいです。

会長； パルティの跡地について情報はありますか。たまり場になっているという話を聞いたような気がします。

委員； 一時はそういう話もあったけれども、定期的にパトカーも回っていますし、今はそういう心配はないようです。

それよりも建物の老朽化のほうが心配です。いつまでもあの状況にはしてられないので、そろそろ再利用ということを考えていく必要があるのではないのでしょうか。

委員； 場所的にはいいところなので、何とかしていきたいです。

会長； 昔であれば、土地開発公社などを利用して市が土地を購入しておくなども考えられたのですが今は無理でしょう。

住環境の向上と言うと、下水道整備なども入ってくると思いますが、荒川地区は平成25年度で完了予定とのこと。現在の加入率はどれくらいあるのでしょうか。

委員； 50%前後ではないでしょうか。景気が悪いので、接続工事をできない人もいるのだと思います。

- 委員； ほかに住環境と言えば、やはり病院だと思えます。村上総合病院のほうはどうなっているのでしょうか。
- 委員； 要望はいろいろ出ています。瀬波側がいいとか、山辺里側につくってほしいとか。利用者のことを考えると駅の近くということになると思えます。
- 会長； 教育、子育て面から見て、何かご意見はありますか。
- 委員； 保育園の統合などについても、子どもが少なくなってきたから統合なわけでしょうし、小中学校においても数は減ってきます。やはり、子育て環境を整えて若い人たちに定住してほしいと思えます。
- 先ほど話が出ていましたが、買い物しやすい環境というのも大事ですので、一概に何とは言えませんが、総合計画の中のアンケートでも、20代の人たちが住みにくく感じているという結果も出ていましたので、その辺が重要だと感じています。
- 会長； 高齢者支援という面も重要な住環境の一つであり、新しい介護施設の話もあるようですが、そういうこと以外で、高齢者の生きがいを生み出すような支援策も考えられると思えます。そういう点ではいかがですか。
- 委員； 高齢者支援ではありませんが、私が住環境ということで思うのは、海老江地区などには、100年も経ったような古い歴史のある家屋がありますが、直したくてもお金がかかって直せないというときに、少しでも市が補助してあげるといようなことができると考えています。
- 会長； 今、海老江地区を村上市景観計画の重点地域に指定して、歴史ある景観を保全しようという流れになっているのですが、指定されて建物に関する規制が若干発生することに対して異論を唱える人がいます。規制はほとんど努力規定の形ですし、黒塀を作る際は市の補助も出るのですが。
- 委員； 昨年、神林地区の塩谷を見学させていただきましたが、力を入れて取り組んでいるようでした。けっこう見応えがありました。
- 委員； 古い家を簡単に壊してしまうのは、もったいないと感じます。
- 委員； ところで、前にもお話ししましたが、大津の「ニュータウンくろっかす」周辺の開発を進めることによって金屋地区の活性化になると思えます。以前に町でやったようなやり方で安く提供することによって、若者が家を建てられるようにするのがいいのではないのでしょうか。
- 会長； 創設換地で残っている土地は何㎡ぐらいありますか。
- 事務局； 5,000㎡ぐらいかと思えます。
- 委員； ほ場整備が完了してかなり年数も経ちますから、もう開発できるのではないのでしょうか。
- 委員； 関川村でやっているようなアパート形式の村営住宅もあります。
- 委員； 住宅と言えば、前坪の公営住宅も40数年経っているので、どうにかしてほしいと思えますね。新規入居はなくなっていますが、まだ多くの人が入居しています。
- 会長； 入居数はどれぐらいあるのですか。
- 事務局； 56戸のうち、44戸入居しています。

委員； 場所的に利便性が良いところです。お年寄りでも生活しやすいです。だからなかなか空かないのだと思います。現在の入居者に出て行ってもらうということは人道的にもできないし、まず、そこを考えてからでないと、その後の利用は考えられないと思います。

委員； 話は変わりますが、国道7号の沿線は農振の網から外されていると思いますし、十文字のローソンは大型車のトイレ休憩などで頻繁に利用されるルートになっています。そういう国道沿いの商業地域と併せて宅地化を考えていかないと、荒川地域は栄えていかないのではないのでしょうか。

それと、保内踏切から県立坂町病院の前につなぐ道路について、区長会が先頭になって要望しようとしています。そういうものが実現していくと、その周りも宅地化していくでしょうし、商業地域、病院など住宅団地としてふさわしい条件がそろっていきます。簡単にできることではありませんが、今後の道筋として見据える必要があると思います。

パルティの件についても、民間企業のことだからと放っておかないで、みんなで検討していく姿勢も大切なのではないのでしょうか。

委員； 先般、区長会の際に市長から学童保育の代替の話が少しありました。

また、前回の地域審議会では、坂町病院の院長から病児保育をやってきたいという話がありました。それによって、看護師の確保と病院の活性化につなげていきたいということでした。それが一般の住民も利用できる病児保育であれば、若い世帯が荒川地区に定住する可能性があります。

子どもが病気になったときに預かってくれる場所があるということは、安心して働ける環境づくりとして非常に重要です。荒川地区で病児保育がやれるかどうか、検討してみる価値があると思います。その辺から取り組んでみてはいかがでしょうか。

会長； 医療施設の充実とともに、子育て支援にもつながる取組で、とてもいいことだと思います。

委員； 過去に坂町病院に塚田先生という方がいらっしゃいましたが、その先生が直江津で子ども病院を開業していて、病児保育園も一緒にやっています。施設は病院に併設なのか、保育士や看護師の体制はどんな基準なのか等も含めて、事務局で調べてみてほしいと思います。

会長； 学童保育と一体でという意味ではないですね。

委員； 一体でなくてもいいと思います。学童保育単体でも、お母さん方はだいぶ助かっています。

委員； 学童保育があるとないとは全然違います。そこに病児保育の施設が荒川にあるとなれば、本当に安心して働けます。

委員； 直江津と高田の中間位の新興住宅街で塚田先生が開業したわけですが、若い世帯が多く、子どもたちがたくさんいるという環境での発想だったのではないのでしょうか。

事務局； 要件的には、病院や保育所等の付帯施設に専門スペースを設けて、看護師をつけなさいとなっているようです。

- 委員； できれば県と市が連携して、特養たかつぼのように病院のすぐ近くに施設が整備されれば理想的だと思います。
- 委員； 村上市のモデルケースとして、やるだけやってみればいいのではないのでしょうか。
- 委員； いくらいい意見を出しても実現しなければだめなので、いかに予算を獲得していくかということだと思います。
- 委員； 今、国の補正予算も出てくるでしょうし、パルティの跡地も安く買える時期で、今がチャンスなので具体的な動きにしていけないといけないと思います。その辺はいかがですか。
- 事務局； 今回もさまざまなご意見が出てきましたが、それらを基に来年度は50万円のソフト事業の検討に取り組んでいくこととなりますが、意見が出ているような大きな目的に対して、要望書を作るだけではだめだと思います。もっと具体的なもの、例えば宅地化であれば構想図などの具体的な形にして、要望していかないと実現しないのではないのでしょうか。
- 委員； 地元議員のみなさんにも協力してもらう必要があるのではないですか。
- 委員； 去年、土地改良区で請願を上げたのですが、5人の地元市議に協力してもらって、本会議でも満場一致で採択を受けました。やはり、具体的にになった段階で市議とも連携して、みんなで取り組んでいく姿勢が必要だと思います。
- 事務局； 補足ですが、(仮称)荒川統合保育園で体調不良児対応型の保育が計画されています。
- 委員； そういうことが実現されていけば、20代の人が住みにくいまちだったのが、今度は良くなっていきます。
- 委員； それから人間関係ですよ。昔、前坪もお年寄りが多かったのですが、若い人たちが家を建てて住みだしたことでまちが活性化しました。子どもの声が聞こえるし、あいさつもあって、ムードがすごく変わりました。
- 会長； そろそろ時間にもなりましたが、ほかにご意見はありませんか。  
本日も多くのご意見をいただきましたが、それらをまとめまして、次につなげて参りたいと思います。

#### 4. その他

- 会長； それでは4の「その他」について、何かございますか。  
なければこれで本日の会議を終了させていただきたいと思います。
- 事務局； 長時間にわたりまして慎重審議いただき、ありがとうございました。以上を持ちまして平成24年度第4回地域審議会を終了いたします。大変お疲れさまでした。

#### 5. 閉会 (17:00)